

地域報告会・講演会 開催報告

2021.2.15

- 1.日時 2021年2月15日（月）14時～16時40分
- 2.会場 浜松市勤労会館 Uホール
- 3.主催 オリパラ教育浜松市内大学連携協議会(浜松市委託)
- 4.後援 静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社、静岡朝日テレビ、
静岡第一テレビ、テレビ静岡、浜松ケーブルテレビ

5.プログラム

- < I 部> 14:00～15:20 アスリート講演&トークショー
「夢を叶えた不退転の軌跡」
- 元女子柔道オリンピック選手 松本 薫氏
(ロンドン大会金メダル、リオデジャネイロ大会銅メダル)
 - 車いすラグビー 池崎大輔選手
(ロンドン大会4位、リオデジャネイロパラ大会銅メダル)

- < II 部> 15:30～16:40 教育実践事例報告(ブラジルアスリート交流報告含む)
全国中核拠点大学による総括

- 6.参加人数 ○会場参加 計 156名
(内訳) 追分小 児童 29名、教員 2名、浜松学院大 学生 27名、
推進校 教員 28名、一般校 教員 2名、一般参加 27名
協力団体 5名、報道 5名 スタッフ 31名
○リモート参加 計 165名
(内訳) 城北小 6年2クラス 都田南小 6年3クラス 一般 15名

7.結果

本事業は、実践事例報告会に加え、元女子柔道、松本薫氏と車いすラグビー、池崎大輔選手の講演会・トークショーを実施した。講演会では、近隣の浜松市立追分小学校の6年生全員と浜松市の2つの小学校(城北小・都田南小)の6年生がリモートで参加した。
選手時代に「野獣」と呼ばれた松本氏は、会場で「野獣」になれる方法などを紹介し、「世界の選手に挑むときには自分を作り上げていた」と話した。また、「失敗したとき、どうすればよいか?」という児童の質問に対して「落ち込んでもいい。それは1日だけにして、挑戦した自分をほめて」とエールを送った。

一方、リモートで講演した池崎選手は、車いすラグビーとの出会い、その魅力について紹介した。児童の質問に対しては「失敗の原因を考えて、もう一度挑戦することが大事。失敗は『学び』です」とアドバイスした。

地域報告会では、5つの教育推進校が、パラスポーツ体験、アスリート講演、ブラジルパラアスリートとのリモート交流など、大学や地域企業・団体との連携で行った様々な事例について報告した。

8.成果

浜松市内の5大学(常葉大学、浜松学院大学、聖隸クリストファー大学、浜松医科大学、静岡文化芸術大学)が浜松市の委託を受け、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を機に、スポーツへの理解を深め、障がいのある方への理解、異文化への理解を高める機会として実施した。

第1部のトップアスリート講演会では、ご自身の経験から、失敗から学ぶ意義、練習を続けることの大切さなど、日々、生活を送るうえで勇気づけられる様々なアドバイスがあった。また、ハンディキャップを乗り越え、夢に向かって挑戦する姿を見ることができた。そして、第2部の実践事例報告では、各校の取り組みが共有できた。

コロナ禍での開催のため、会場での観覧者を制限し、リモート参加やYouTube配信によるリモート観覧など、オンラインを活用しできるだけ多くの方が参加できるように工夫した。

各大学の担当者間、リモート参加の小学校との連携は問題なく実現できた。多くの児童からも直接、質問ができる環境となり有意義な機会となった。

9.報道

- | | |
|--------|------------------------------|
| (1)新聞社 | 静岡新聞、中日新聞、スポニチ、報知スポーツ、日刊スポーツ |
| (2)テレビ | 浜松ケーブルテレビ |

以上

地域報告会・講演会 実施風景

2021.2.15実施
浜松市勤労会館Uホール

○受付風景



手指消毒・検温



受付

○トップアスリート講演会



全景



左 松本薰さん 中央 池崎大輔選手



小学生のリモート参加(後方スクリーン)



○地域報告会



教育推進校事例報告



全国中核拠点大学まとめ

○展示



パラ選手の車いす



ブラジルホストタウン

○協賛・後援企業 紹介

